

文化財レスキュー事業の 今後を考える

～東日本大震災から1年を経過して～



本シンポジウムでは、昨年4月以降実施している「東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援事業（文化財レスキュー事業）」の活動を振り返るとともに、これまでの活動から得られた知見と課題を探りながら、今後の大規模災害に備えた文化財レスキュー事業の在り方を考えます。

**参加費
無料**
事前申込不要

日時：**2012年3月24日** **土** 11:00～17:30

会場：**文部科学省東館3階 講堂**（東京都千代田区霞が関3-2-2）

※ 施設内の駐車場は利用できませんので、公共交通機関をご利用ください。

文部科学省の地図



最寄り駅からのアクセス

- 銀座線虎ノ門駅 6番、11番出口 徒歩2分
- 千代田線霞ヶ関駅 A13番出口 徒歩5分
- 丸ノ内線霞ヶ関駅 A13番出口 徒歩5分
- 日比谷線霞ヶ関駅 A13番出口 徒歩5分



主催：**文化庁**／独立行政法人国立文化財機構

協力：**東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会**

(問合わせ先) 文化庁文化財部美術学芸課(シンポジウム担当)

TEL: 03-5253-4111(内線3154)

プログラム

午前の部

11:00 開 会

11:00▶11:05 主催者挨拶

近藤 誠一 (文化庁長官)

11:05▶11:20 事業説明

亀井 伸雄 (東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会委員長、東京文化財研究所長)

11:20▶12:20 活動報告 I

鎌田 勉 (岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課主任主査)

小谷 竜介 (宮城県教育庁文化財保護課技術主査)

荒木 隆 (福島県教育庁文化財課文化財主査)

吹野富美夫 (茨城県教育庁文化課文化財保護主事)

午後の部

14:00▶14:40 活動報告 II

石崎 武志 (東京文化財研究所副所長・保存修復科学センター長)

高妻 洋成 (奈良文化財研究所保存修復科学研究室長)

14:40▶15:00 活動報告 III

太田 浩平 (凸版印刷株式会社情報コミュニケーション事業本部 新市場・新サービス開発本部課長)

15:00▶15:20 休 憩

15:20▶17:25 パネルディスカッション

コーディネーター 神庭 信幸 (東京国立博物館保存修復課長)

栗原 祐司 (文化庁文化財部美術学芸課長)

コメンテーター 三輪 嘉六 (九州国立博物館長)

パネラー 岡田 健 (東京文化財研究所保存修復科学センター副センター長)

松井 章 (奈良文化財研究所埋蔵文化財センター長)

真鍋 真 (国立科学博物館地学研究部研究官)

日高 真吾 (国立民族学博物館文化資源研究センター准教授)

中島 尚子 (国立国会図書館資料保存課課長補佐)

村上 博哉 (国立西洋美術館学芸課長、全国美術館会議企画担当幹事)

青木 睦 (国文学研究資料館研究部准教授、

全国歴史資料保存利用機関連絡協議会)

平川 新 (東北大学教授、宮城歴史資料保全ネットワーク理事長)

17:25▶17:30 閉会挨拶

佐々木丞平 (独立行政法人国立文化財機構理事長、京都国立博物館長)

17:30 閉 会